

R7208SB/R7308SB ソフトウエアアップデート方法 R7208SB/R7308SB は Futaba WEB サイトからデータをダウンロード して最新のソフトへ更新することができます。

※記載されているパソコンの各表示画面は一例です。機種により異なる場合がありますのでご了承ください。

必要なもの:CIU-3 を使用する場合





必要なもの : T16IZS(V4.0~), T16IZ(V6.0~), T26SZ を使用する場合



CIU-3 を使用する場合

事前の準備

1. パソコンへ CIU-3 のドライバソフトをインストールします。



CIU-3 は初めてパソコンへ接続すると自動でドライバソフトがインストールされます。

アップデート手順

 アップデートファイルを Futaba WEB よりお持ちの PC にダウンロードします。

https://www.rc.futaba.co.jp/



 ダウンロードしたアップデートファイル(zip 圧縮形式) を展開(解凍)します。



3. 展開(解凍)されたアップデートファイルをパソコンヘコピー して同じフォルダへ入れます。

4. 図のように R7208SB/R7308SB とパソコンを CIU-3 を介して接続します。



5. SW を押したまま受信機電源を ON します。





受信機がアップデート待ち状態になりました

9. PC ヘコピーしたアップデートファイルを実行します。



以上でアップデート作業が終了となります。「OK」を押して電源を OFF し、 製品からケーブルを取り外して下さい。

動作確認を行い、正常に動作することを確認して下さい。

アップデート手順

 受信機のアップデートファイルを Futaba WEB よりお 持ちの PC にダウンロードします。

https://www.rc.futaba.co.jp/



- **2.** ダウンロードしたアップデートファイル(zip 圧縮形式) を展開(解凍)します。
- 3. PC にマイクロ SD カードを挿入して、PC 上で展開した「FUTABA」フォルダーをマイクロ SD カードにコピーします。
- 4. 「FUTABA」フォルダーをコピーしたマイクロ SD カードを、送信機のカードスロットに挿入します





6. 送信機の電源を ON し、システムメニューから [アップデート]を開きます。

システムメニュー	│New │アイドルアップ1 🖫	7.7 V	1/1
画面設定	音量設定	日付と聞	封
ハードウェア設定	バッテリー設定	レンジチョ	ェック
S.Bus サーボ	受信機設定	DLPH-2	設定
SBD 設定	アップデート	インフォメ-	ーション

※送信機の機種により表示画面は異なります。

7. [受信機アップデート]→ [R7208SB] をタップします。 ※ R7308SB も R7208SB をタップします。





08SB

Futaba

EASST

Extra Voltar 3

SB2/4 SB2/5

SB2/6

11. オレンジ点灯になったら SW を離します。

12.送信機の[アップデート]ボタンをタップします。



13. アップデートが完了すると、R7208SB/R7308SB の緑 LED が点灯します。



14.終了すると、送信機は以下の表示になります。



15. バージョンは[システムメニュー]→[受信機設定]→[読み込み]をタップすると確認できます。

16. 各接続を外します。

V2.2 アップデート内容

●受信機の起動からサーボ信号を出力するまでのソフトウェア処理を見直しました。
 一部の S.BUS 機器(社外含む)にて、電源投入後の起動不良がごくまれに発生する現象を改善いたしました。

V2.1 アップデート内容

●リンク処理を改善しました。

●デュアル RX リンクモードのサブ RX /DLPH-1/DLPH-2/FDLS-1 接続時の処理を改善しました。

V2.0 アップデート内容

● FASSTest26CH に対応しました。

●チャンネルモードを拡張 (MODE H,I,J) しました。

受信機 CH 出力モード一覧表										
出	設定チャンネル									
ハコネクター	Hーボ A	Ψー≍ B	モーモ C	モード D	モード E	モード F	モード G	н - π -н	ا س اط	ر ــــــــــل
1	1	1	1	1	9	9	9	17	17	17
2	2	2	2	2	10	10	10	18	18	18
3	3	3	3	3	11	11	11	19	19	19
SB2 / 4	4	4	4	S.BUS2	12	12	12	20	20	20
SB2 / 5	5	5	5	S.BUS2	13	13	13	21	21	21
SB2 / 6	6	6	6	S.BUS2	14	14	14	22	22	22
SB2 / 7	7	7	S.BUS2	S.BUS2	15	15	S.BUS2	23	23	S.BUS2
SB / 8	8	S.BUS	S.BUS	S.BUS	16	S.BUS	S.BUS	24	S.BUS	S.BUS
LED 点滅回数	赤 1回	赤 2 回	赤 3 回	赤4回	赤 5 回	緑1回	緑 2 回	緑 3 回	緑4回	緑 5 回

●デュアル RX リンクモードモード時の、DLPH-1/DLPH-2/FDLS-1 と接続時の不具合を修正しました。 ●送信機からの受信機設定に対応しました。

※ FASSTest26CH 使用時は受信機を必ず V2.0 ヘアップデートしてください。 ※ T16IZ,T16IZS は 17ch 以降の操作はできません。

└ T26SZ, T16lZ(V6.0~), T16lZS(V4.0~), T32MZ-WC, T32MZ(V3.9~) に受信機を接続するとバージョンの確認ができます。 └ └ 受信機のバージョンが V1.3 以前の場合はバージョン確認ができません。バージョン確認ができない場合は V2.0 へバー ↓ ジョンアップしてください。



②送信機が OFF の状態で、送信機の **U.MENU/MON.** ボタンを押したまま電源スイッチを押します。 電波が送信されない状態で送信機が動作します。



※受信機が電波を受信している状態では、設定を行うことはできません。
※受信機設定後に受信機を使用する場合は、送信機の電源を入れ直して電波を送信してください。

③システムメニューから[受信機設定]画面を開きます。

システムメニュー	Model1 コンディション1 ₪	7.6V 1/1
画面設定	音量設定	システムタイマー
ハードウェア設定	バッテリー設定	レンジチェック
S.Bus サーボ	受信機設定	DLPH-2 設定
アップデート	インフォメーション	

④ [読み込み]ボタンをタップします。

受信機設定 Model1 コンディション1	7.6 V
受信機ID バージョン 00.000 読み込み	4 書き込み
Port	
Ch.	
デュアルRXリンクモード	
FASSTest12ch テレメトリーOFFモード	

⑤受信機のバージョンが表示されます。

受信機設定					Model1 Condit.1								
受信機ID 225950010 バージョン 2.0 読み込み				<u></u> ∠∂,	¥	書き込み	L						
- ナヤンネルモート								MODE	В				
Port	1	2	3	4	5	6	7	8					
Ch.	1	2	3	4	5	6	7	SB					
デュアルRXリンクモード							0	FF					
FASSTest12ch テレメトリーOFFモード						11	NH:テレ>	ィトリ	-ON				

T32MZ-WC, T32MZ(V3.9~)を使用したバージョン確認方法

1. 送信機の **U.MENU/MON.** ボタンを押しながら電源 SW を ON します。



S.I/F port

6. 接続された受信機の Ver. が表示されます。

受信機	Model1	Condition 1	90%
受信機	Ver 2.0	ID 225650035	読込み
チャンネルモート		MODE A	書込み
デュアルℝӾリンク		OFF	
FASSTest12ch テレメーりのF	Fモ∽ŀ	INH:テレメヤリーON	



このナンバーが 2351 以前の受信機が V1.1 対 象です。2352 ~の受信機は V1.1 アップデート の必要がありません。